

いかにあるが吾等は使すべし之が妥協の途を模るべし
云ふ事を感じつゝあるりてありませし

本年の園系同盟会争議は右より四月二十一日から九月に至る
止件数四三千件であります。而してその日数は二百六十日と推定
され加へて総人数は三五千と推定され、而して労務費は約一
百萬に達する。二場閉鎖を喰らひたつたものが三件、その他は款
りたりたものが十九件あります。(以下省略)

高橋を延日数で申しますと一系六十、二系九十五日と云ふ日を教
へてあります。更に平均一件の争議或は工場閉鎖等に對する
一件平均人数を見れば一五人であります。更に一件に對する
る平均日数を見れば七日と二分と云ふ事になつて居ります。之
を園系全盛會に属するものと申しますれば機械、鉄
工に干渉するものが五十七%と云ふれから醸造工業に干渉するものが三七%
それから雑種工業に干渉するものが七%以上とあります。而して各々
が特に此度の争議に就きまして争を大きくし、甲度事は僅かに
十件に止る争議で解決されたものが五百八十名に達して居ると
云ふ事案下であります。以上は園系全盛會の争議の報告であります。
今年度の争議の二月から九月に至る迄の争議の仕方の傾向を簡潔的
に申しますと第一番に甚だ件数が多いも是らふいけん其件数が割合に